

〔亜熱帯における農業技術の普及及び経営指導〕

小笠原村農業経営・営農意向調査の結果
～農家の今後（10年後）の営農意向の概要～

谷藤家信・菊池 豊*

（小笠原亜熱帯農業センター・*営農研修所）

【要 約】農家の今後の営農意向は、目標所得の向上、新しい農業への挑戦、農地の規模拡大など積極性があるが、農地の規模拡大には需給ギャップが生じている。

【目 的】

小笠原村の農業経営および営農意向を調査し、本年度改訂した小笠原村農業基本構想の基礎データ、および農家の普及指導の基礎資料とする。

【方 法】

- 1) 調査票は、農業経営および今後（およそ10年後、以下同じ。）の営農意向に関する22項目とした。
- 2) 2009年8月1日現在の農家基本台帳登録農家61戸を調査対象とし、各戸に調査票を郵送し、調査説明会を実施後、2009年9月1日現在で自記申告させた。

【成果の概要】

- 1) 回答率：調査対象61戸のうち、回答のあったものは32戸、回答率は52.5%である。
- 2) 目標とする経営成果：表1に、農産物の目標所得を示している。200～300万円未満層が最も多く、現状では1割程度である200万円以上層が目標では65.5%となっている。
- 3) 農地の流動化：表2に、農地の拡大意向を示している。農地の拡大意向を持つ農家は全体の43%を占め、調達は借入を希望するものが多い。また、拡大したい農地が450aあるが、縮小したい農地は120aに過ぎないため、不作付地などの積極的な流動化が進まないかぎり需給ギャップの解消は困難である。
- 4) 働き手の確保：表3に、働き手の増加意向を示している。働き手の増加を希望する農家は全体の51.6%を占め、働き手としては家族が3戸、家族以外が6戸である。
- 5) 必要な資本装備：表4に、必要な農業用施設および機械を示している。鉄骨ハウスを必要とする農家が56.3%、計23棟（10,800㎡）、鉄骨ハウス以外のハウスを必要とする農家が37.5%、計21棟（4,570㎡）である。
- 6) 今後の経営意向：図1に、今後の農業経営の意向を示している。今後の農業収入については、「手間をかけても収入をあげたい」「農業の収入だけで生活したい」には肯定的な回答が多く、「農業から他産業に転換したい」には否定的な回答が多い。農地については、「農地が少なくて困っている」ものが50%いるが、「農業をやってくれるなら農地を渡してもよい」には76%が否定的な回答である。農業者との連帯、行政支援、村の将来を考えての営農、新しい農業への挑戦には、肯定的な回答が多い。
- 7) まとめ：今後の営農意向は、①目標所得を200万円以上とするものが多い。②農地の規模拡大には需給ギャップがある。③働き手の増加を希望する農家が約5割ある。④鉄骨ハウスを希望するものが多い。⑤「農業収入」、「新しい農業への挑戦」には積極的である。

表1 今後の農産物目標所得階層別農家数

金額	単位：戸	
	現在	目標
総数	31	29
販売・所得なし	6	-
15万円未満	8	1
15～50	4	4
50～100	3	1
100～200	6	4
200～300	3	10
300～500	1	2
500～700	-	5
700～1000	-	1
1000万円以上	-	1

表2 今後の農地の拡大意向別農家数及び調達方法

農地の意向	単位：戸, a			面積
	農家	購入	賃借	
総数	30	-	-	-
拡大したい	13	5	12	450
10a未満	-	-	-	-
10～30	3	2	3	-
30～50	5	2	5	-
50～1ha	3	1	2	-
1～1.5	1	-	1	-
不明	1	-	1	-
縮小したい	2	-	-	120
今のままでよい	15	-	-	-

表3 今後の働き手の増加意向

増加意向	単位：戸			
	農家	希望する働き手		
		家族	家族以外	不明
総数	31	-	-	-
増やしたい	16	3	6	1
1人	8	3	4	1
2	2	1	1	-
3	-	-	-	-
4	1	-	1	-
不明	5	1	4	-
減らしたい	-	-	-	-
今のままでよい	15	-	-	-

表4 今後必要な農業用施設および機械

主な資本装備	農家	棟数	施設面積	導入希望 ^a
	戸	棟、台	m ²	%
鉄骨ハウス	18	23	10 800	56.3
鉄骨ハウス以外のハウス	12	21	4 570	37.5
管理機（歩行型）	8	8	-	25.0
動力耕うん機	8	8	-	25.0
動力防除機	6	7	-	18.8
農業用トラック	10	11	-	31.3
油圧ショベル	10	10	-	31.3
その他	11	11	-	34.4

a) 回答農家総数に対する資本装備を必要とする農家の百分比

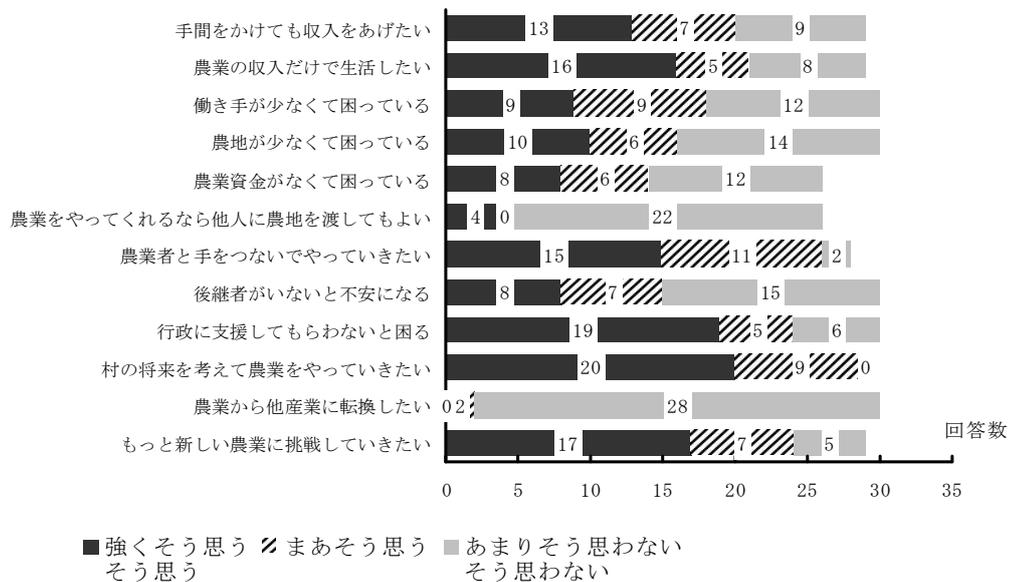


図1 今後の農業経営の意向